

名古屋市情報教育研究会 【著作権・肖像権にかかわる情報モラルの指導】  
**総合的な学習の時間 学習指導案**

単元名 情報モラルを考えよう - ホームページで発信してもよい情報，いけない情報 - (1時間完了)  
 目標 情報を発信するとき，内容について気を付ける必要があることを考えることができる。

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	情報モラルにかかわる 評価の観点と方法
2分	1 本時の学習内容を知る。	ホームページで情報を発信するとき，内容について気を付ける必要があることを伝える。	
10分	2 情報モラルクイズ(高学年)に取り組む。	インターネットを使って調べたり，情報を発信したりするとき，内容について気を付けなければならないことがあり，それらを「情報モラル」と呼んでいることを伝える。 「くすのきネットなごや」の情報モラルクイズ(高学年)に取り組ませる。  クイズが終わったら，各自で答え合わせをさせる。ただし，児童には解説を見させないようにさせる。 クイズをやって気付いたことを発表させる。	気を付けたり，守ったりしないといけないことが数多くあることに気付いているか，発表の様子からつかむ。
15分	3 情報発信にかかわるクイズに焦点をあて，発信するときのルールについて話し合う。	情報モラルクイズの中から，「デジカメで家の近くのバス停の写真を撮ってホームページに入れ公開してもよいか」という問題を取り上げる。 「よい」と答えた児童，「悪い」と答えた児童に，それぞれなぜそう答えたかを発表させる。 ・ 「よい」人じゃないからいい。 みんなのものだからいい。 ・ 「悪い」勝手にのせてはいけない。 市のものだから許可がいる。 公共物は特に許可なく掲載が可能だということについて説明する。 公共物は許可がなくてもいいことから，逆に個人に関わるもの，私的なものについては許可が必要なことについて説明する。	答えに対して根拠となる理由が述べられているか，発言内容からつかむ。  公共物と私物を区別する必要があることが理解できたか，発言の内容からつかむ。
15分	4 ホームページ上で発信してもよい情報，いけない情報について話し合う。	掲載の許可を得た「友達の犬の名前と写真」「友達の名前と写真」の例をあげ，実際に掲載してもよいか話し合わせる。 許可があっても個人情報にかかわることは発信すべきではないことに気づかせる。 「家の近くのバス停の写真」の例についても，自分の住んでいる場所が特定されるような載せ方はしてはいけないことにも触れるようにする。	発信の際に気を付けることや，発信してもよい情報，いけない情報について気付くことができたか，話し合いの様子からつかむ。
3分	5 本時のまとめをする。	本時で学習した情報発信する際に気をつけないといけないことを，学習プリントにまとめさせる。	

情報モラルを考えよう - ホームページで発信してもよい情報，いけない情報 -

名前 ( )

1 情報モラルクイズをやった感想を書きましょう。

2 「デジカメで家の近くのバス停の写真をとってホームページに入れ公開しました」というクイズにどう答えましたか。理由も書きましょう。

( よ い ・ 悪 い )

理 由

正 解 ( )

3 ある人がホームページにのせたくて、「友達の犬の名前とその犬の写真」「友達の名前と友達の写真」をのせてもよい許可をその友達からもらいました。あなたなら、どうしますか。

4 ホームページで発信してもよい情報，いけない情報とは？

